

stories

広報かわねほんちょう



開演前、ロビーには長蛇の列が



楽しいトークに笑顔がこぼれる



ホールはすぐに満席に



「僕は小さいころ、風が見えるようになりたかったんです。」

川根本町・中部電力㈱共催による「石原良純氏講演会・演題：空を見よう」は2月8日、文化会館ホールで開かれ、大勢の来場者が詰めかけた。石原氏は、自身の幼少時代の思い出や、気象予報士になろうと思ったきっかけ、環境問題について思うことなど、ところどころに笑いをちりばめて話した。1時間30分にわたって繰り広げられた講演は午後3時過ぎに終了。会場には終始、たくさんの笑顔と笑い声があふれていた。

2009

3

No.41

